

II-1-7 家庭科

(1) 研究仮説

家庭科の学習と家庭生活を結びつけ、生徒自らが抱いた問題について、日々の学習の振り返り、家庭生活の改善・向上を図る学習として、消費者教育に関する授業に着目した。生徒が日常生活に身近で体感できる題材として「フェアトレード」に着目し、「答えが1つではない」という多様な事例から、何が必要なのか、どうすれば解決できるのか、自分自身ではどうすればいいのか等を考え、グループで協議、発表を通して、結果をクラス全体で共有し、その知識と態度を学ぶ過程の中で培われる思考力・判断力・表現力等は「問う力」につながるであろう。

(2) 実践

ア 実施日時 令和3年12月～

イ 実施場所 家庭科室

ウ 参加生徒 高校第2学年（A組～F組） 235名

エ 行程及び実施内容

	学習内容	指導上の留意点
導入 5分	・本日の授業の目的を確認する。 ・フェアトレードに関する事項の確認とワークシートの記入方法の説明。	これまでの消費活動についての学習、及び日常の消費行動を振り返りながら、本時の学習目標を確認する。
展開① 15分	・動画「フェアトレードとは～児童労働の無い世界～」(NGO ACEより)を視聴し、フェアトレードの実際を確認。	・動画の途中で説明が必要な部分について、適宜指示及び説明を加える。 ・ワークシートに記入しながら視聴。
展開② 20分	・グループに分かれ、フェアトレードのメリット、デメリットについて、意見交換。 ・各グループでまとめたことを発表する。	・ワークシートを用い、協議の際には他の意見を聞いて自分の意見との比較しながら、足りないこと、不十分である等を理由含めて協議し合う。 ・必ず各メリット、デメリットとして挙げた内容はその理由を考えることを指示。
展開③ 10分	・グループで出た意見をもとに、ワークシートを完成させる。	・グループを解いて、協議の結果を踏まえながら、自分で考えた内容を記入する。 ・デメリットから見える今後の改善点から、今の自分でできることを考える。
まとめと振り返り 5分	・本日の授業を振り返って、メリットとデメリットを考えることの重要性を確認する。	Google formを用いて、ワークシート」の回答及びアンケートを記入。時間内に終わらない場合は、提出期限を決めて入力する。

(3) 評価

ア 参加生徒の感想（一部抜粋）

- ・ フェアトレードにもデメリットがあり、それを解決できるように社会が動いていけばいいと思います。値段が高いが自分もフェアトレードの商品を買っていきたいと思います。
- ・ フェアトレードについては元々知っていたがなぜフェアトレードの商品が増えていかないのか、どれくらい収入が増えるのか分からなく困っていたが、授業を通して理解できたが、さらに新たな疑問が増えた。
- ・ メリットばかりの仕組みであると思っていたが、疑問をグループで議論していくうちに、デメリットも見えてきて、生産者ばかりでなく社会や環境にも与える影響が大きいことが分かった。
- ・ 中間搾取が実際は無かったとしても、日本の高度経済成長や韓国の漢江の奇跡のような支援による目に見えた大きな成果というものがアフリカでは一部の例を除きここ数十年未だに表れていない上、日本は飢餓や黒人からは縁遠すぎるため、質は変わらないのにわざわざ高いフェアトレード商品を買おうと思う人はあまりいないと考えた。これらを踏まえて、将来的にはフェアトレードに代わる直接的な寄付方法確立させることが最良であるという結論に至った。

アンケート結果

表 「あって欲しいのに無いものは何だろう」または「足りないことは何かな」をこれまでよりも考えるようになりそうですか。

- 1 考えなさそうだ
- 2 変わらなさそうだ
- 3 少し考えるようになりそうだ
- 4 考えるようになりそうだ
- 5 とても考えるようになりそうだ

1.66%

11.60% 40.88% 29.83% 16.02%

上の表からわかるように、日本ではフェアトレードがうまくいっていません。その原因は何だと思えますか。(2つ以上)

- ・1人1人のフェアトレードに関する意識が低い。
- ・フェアトレード商品の価格が高い。
- ・フェアトレードに賛成的ではない企業が多い。

SDGsにも貢献するフェアトレードですが、なかなか進んでいない現状があります。そこで、A君はフェアトレードのデメリットを次のように考え、表にまとめました。

①生産労働者にとってのデメリット	作物の育成状況がいつも同じとは限らない
②消費者にとってのデメリット	商品のバリエーションがない
③社会と環境にとってのデメリット	値段が一定しない

問題3 A君の作成した表で足りないと思うことを項目ごとに考えて、書き加えなさい。(2つ以上)

①生産労働者	・気候不順が原因で作物が育たない時もある。(解答例) ・他の作物をつくろうと思えば、野菜の量が減る。 ・市場価格が上がると、他の業者と取り引きが制限される。
②消費者	・一般的に商品より価格が高い。 ・生産コストが高くなる。
③社会環境	・コストがかかる。 ・自由市場経済が制限される。

問題4 今日の授業の感想を書いてください。

発展 在り上の子どもたちが過酷な労働環境の中で、カカオをつくるのはとても大変だと思った。普段当たり前のように食べているチョコレートは、自分の知らないところでつくられていることを知って、感謝したい。フェアトレード商品と今まで買ったことがないので、今度見かけたら買ってみたい。また、周囲の人にもフェアトレードの商品を紹介したい。

実施の様子

生徒の様子・ワーク（抜粋）

フェアトレードのメリット	
①生産に携わっている労働者にとってのメリット	＜適正な価格が保証される＞ フェアトレード以外では、正当な価格で企業と取引が難しいが、フェアトレードの商品は全体的に正当な価格で取引が保証され、生産者に適正な価格が支払われるから、 ＜自分の実態を知ることができる＞ フェアトレードを通じて、生産者が生活に困らず、正当な賃金ももらえることがわかるから。
②消費者にとってのメリット	＜貧困問題を簡便的に支援できる＞ 1人1人で、困窮者を救済するのは難しいが、フェアトレードの商品を買えば、支援になることがわかるから。 ＜発展途上の現状を知ることができる＞ フェアトレードの商品は、発展途上の国について調べたり、関心したりすることはできるが、フェアトレードの商品を知ること、途上国の状況を知るきっかけになるから。
③社会や環境にとってのメリット	＜環境保護につながる＞ フェアトレードの買えば、環境保全活動や社会貢献活動をしている企業もあるから、フェアトレードの商品を購入することで、環境保護にもつながるから。 ＜世界の不正な取引を減らすことができる＞ フェアトレードを通じて、世界の不正な取引が減ることを知っているから、不正な取引を減らすことができる。

問題3 A君の作成した表で足りないと思うことを項目ごとに考えて、書き加えなさい。(2つ以上)

①生産労働者	・気候不順が原因で作物が育たない時もある。(解答例) ・1つの商品しか売れないので、世界の状況によって需要が変わってしまう。 ・1つの作物しか売れないので、収入が不安定。
②消費者	・1つの値段が高い。 ・1つの商品しか売れないので、味も少ない。
③社会環境	・市場価格の安い値段で取引が難しく、コストの問題になる。 ・品質が不安定。

問題4 今日の授業の感想を書いてください。

カカオは糖質は0.2%だが、カカオが何にでも含まれているというのを聞いてびっくりした。フェアトレードの言葉は知っていたが、具体的な商品が売られているのを知ったのは、初めて。フェアトレードの商品は、知らない人にも知ってもらいたい。この授業で知ったことを、家族や友達に伝えて、フェアトレードの商品を買ってみたい。

イ 考察

アンケートから、「あって欲しいのに無いもの」、「足りないもの」を自ら考えることができた。と回答した生徒が全体の83%であった。題材的には、身近な事例であり、解決策を考えることは表面的には容易であるが、なぜそうなるのか、その結果どういった新たな課題が生じるのかを予測し、解決策を見出すのは容易ではない。そこでグループによる協議を通すことで、深層にある「事実」にまで理解をめぐらし、一定の解決策を見出し、今後の意識変容に寄与できたと考える。

参加生徒の感想の中には、少数ではあったが、更なる気づきに対しての解決策までもを提案する生徒がいたことは、「ないことに気づく」という視点を越えた大きな収穫であった。

今後、「これまでよりも考えられそうになりますか」という問いに対しても88%の生徒が肯定的であり、今回の試みは一定の効果があったと考える。

ウ 今後の課題

テーマである「問う力」を意識しすぎたため、課題の与え方が一方的であったように感じる。「フェアトレード」の実態を多角的に捉える十分な時間を確保のため、グループでの協議結果をもとにクラス全員で協議する時間をさらに多くすることで、多様な考えが共有できると考える。

今回の取組は「主体的・対話的で深い学び」に繋がる授業改善の視点にもなりうるものと思われるので、他の教材でも実践していきたい。